

## 著者原稿チェック票

筆頭著者は、投稿論文が日本口腔診断学会雑誌投稿規程に準じたものであることを以下のチェック票を用いて確認してください。すべての項目に適合している必要があります。

著者は全員、本会員である。

- 本論文の内容は、過去に未発表で、現在および今後、いずれの媒体においても発表予定でない。
- 1 頁目：和文表題，著者名，英文表題，英文著者名，和文所属，所属機関の主任者または論文の指導者，英文所属，所属機関の主任者または論文の指導者，別刷部数，校正・別刷送付先および掲載料請求先（corresponding author）となっている。
- 2 頁目：和文論文では英文抄録 200 語，英文論文では英文抄録 200 語とその和訳，Key words（3～5 語で英語と日本語併記），Running title（略題，日本語 20 字，英語 10 語以内）となっている。
- 3 頁目以降以下の順になっている。  
原著では，緒言，研究方法，結果，考察，結論，謝辞および利益相反，引用文献  
臨床報告では，緒言，症例，経過，考察，結論，謝辞および利益相反，引用文献
- その他，日本語の表記，単位の表記，人物・地名の表記は投稿規程に準じている。  
図表，写真は明確に作成されているか，本文の後に添付し，ファイルとして保存されている。保存様式は jpeg, tiff, bitmap のいずれかになっている。
- 引用文献の表記は，投稿規程に準じており，挿入場所の右肩に片括弧で明示してある。
- 倫理規定は以下の内容をすべて満足している。
  - 1) 原著：動物研究については動物実験委員会の審査承認を受けている。臨床研究についてはヘルシンキ宣言を遵守している。倫理委員会の審査承認を受けている。患者，被験者からインフォームドコンセントを得て署名をもらっている。
  - 2) 臨床報告：ヘルシンキ宣言を遵守している。患者からインフォームドコンセントを得て署名をもらっている。プロフィールや病歴の記載では，期日が特定できない配慮がしてある。顔写真は原則として提示していない（不可欠な場合は，目隠しをして必要な部分のみを提示してある）。個人情報に結びつく顔写真，内容の記載，図表の表示がある場合は，掲載に関する患者等の同意書のコピーが添えてある。
- 著者全員が二重投稿，データの改竄・捏造がないことを証明するサインを行っている。
- 利益相反については，著者全員につき，もれなく「謝辞ならびに利益相反」の項に記載してある。
- 英文論文について，ネイティブチェックを受けた。
- 投稿論文（本文，図表，写真）が収められた CD-R 1 枚が用意してある。
- 以下の添付書類がすべてそろっている。
 

オリジナル原稿（必須）	1 部
オリジナル原稿のコピー（必須）	3 部
オリジナル原稿と同じ内容のファイルが入った CD-R（必須）	1 枚
投稿票（必須）	1 部
著者全員がサイン済みの承諾書（必須）	1 部
著者原稿チェック票（本票：必須）	1 部
ネイティブチェック証明書（英文論文では必須）	1 部
患者承諾書（臨床報告，必要に応じて）	